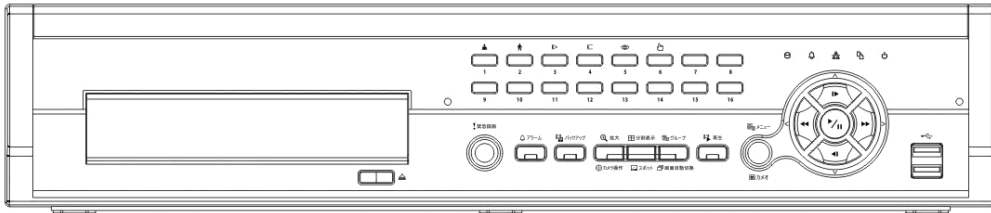


【2】 クイックオペレーションガイド デジタルレコーダー

SDRS-1630・SDRS-831



このたびは、デジタルレコーダーをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

本書は、主にデジタルレコーダーの基本的な操作方法などについて、解説するクイックオペレーションガイドです。
詳しい使用方法などについては、取扱説明書をご参照ください。

本製品の取扱説明書は、以下のWeb からダウンロードしてご利用ください。

<http://www.selco.ne.jp/products/dvr.html>

本書とクイックインストラクションガイドおよび取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。

保証書には必ず必要事項を記入してください。

【製品に関するお問い合わせ先】

セルコ株式会社 カスタマサポート室

E-mail : support@selco.ne.jp

TEL : 075-501-0070 (代表) FAX : 075-592-4275

セルコ株式会社

〒607-8326

京都市山科区川田御出町 14 番地 3

TEL : 075-501-0070 (代表) FAX : 075-592-4275

AT-434-88

★起動／終了

1. 起動する

- 1) 電源コードを本機とコンセントに接続すると本機が起動します
本機には電源スイッチがありません。電源コードを接続すると起動を開始します。
- 2) 本機が起動するとライブ映像監視画面になります。
接続されたカメラの台数が最大接続台数より少ない場合、カメラが接続されていない入力チャンネルを「映像信号なし」と見なし、本体内蔵のアラーム音を鳴らします。すべての入力チャンネルに映像信号がある場合、アラーム音は鳴りません。

【参考】

以下の手順で、起動時のアラーム音を止めてください。

- (1) **アラーム** ボタンを押すと、ログイン画面が表示されます。
- (2) **エンター** ボタンを押します
(初期状態ではパスワードは設定されていません)
- (3) 確認画面が表示されるので、**エンター** ボタンを押してログインし、アラーム音を止めて下さい。
→未使用の入力チャンネルは録画を OFF に設定してください
(ページ3：カメラ設定)



2. 終了する

- (1) メニュー画面から「システム」を選択し、「システム終了」を選択します。
- (2) 確認画面が表示されるので、「システム終了」を選択します。
- (3) 右図の画面が表示されたら、電源コードを本機から外してください。



★主要出荷設定値

本機の出荷時の主な初期設定値を以下に示します。必要に応じて、変更してください。
何も変更しない場合、以下の初期設定条件で電源 ON とともに自動的に録画を開始します。

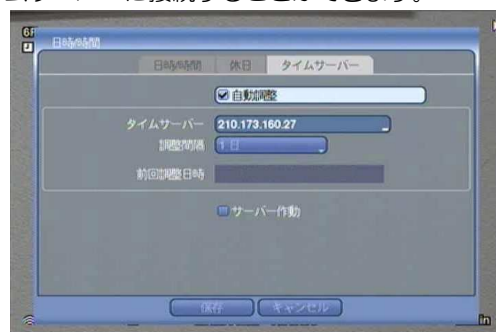
- 1) ユーザー名、パスワード
・初期のユーザー名は“admin”、パスワードは”なし”です。
- 2) スケジュール録画関連
毎日、24 時間、すべてのカメラ入力を連続録画&イベント録画する設定になっています。
上書録画は有効になっていますので、ハードディスクの残量がなくなると古い録画から上書きします。
 - ・連続録画設定 : 30.00ips、標準画質、標準解像度
 - ・イベント録画設定 : 30.00ips、高画質、高解像度
(画質=最高画質、高画質、標準画質、低画質から選択可能)
(解像度=最高解像度、高解像度、標準解像度から選択可能)

※イベント録画の各イベントは設定されておりません。イベント録画を実施する場合、各イベントの設定を行ってください。

3) 時刻

本機は、出荷時に時刻設定を行い、出荷しておりますが、念のために以下の手順で確認をお願いします。

- 1) メニュー画面を起動し、「システム」を選択し、「日時/時間」を選択します。
- 2) 日付、時間、標準時間帯が表示されるので、正しいか確認し、必要に応じて修正して、「保存」します。
修正が不要の場合、「キャンセル」で画面を閉じます。
- 3) ネットワークに接続してお使いの場合、定期的に時刻補正をするタイムサーバーに接続することができます。
 - (1) メニュー画面を起動し、「システム」を選択し、「日時/時間」を選択します。
 - (2) 「タイムサーバー」タブを選択して、タイムサーバー画面を表示します。
 - (3) 「自動調整」にチェックして、タイムサーバー欄に、表示されるソフトキーボードを使って 210.173.160.27 と入力し、[決定]を押して確定し、「保存」ボタンを押すと、一定時間毎（1 日 1 回の調整間隔を選択）にネットワーク経由で時刻を補正します。なお、通常は、ネットワークの設定画面の LAN 画面のタイプは「DHCP」を選びください。(ご使用のネットワーク環境により、異なります)



★各種設定（基本項目）

1. カメラ設定

接続されたカメラの台数が最大接続台数より少ない場合、使用していないカメラ入力を OFF に設定してください。

- 1) **メニュー** ボタンを押してリアルタイム監視メニュー画面を表示し、「設定」を選択します。
- 2) メニュー画面を表示し、「装置」タブ内の「カメラ」を選択します。
- 3) 右図のカメラ設定画面が表示されます。
- 4) カメラが接続されていないチャンネルを選択し、**エンター** ボタンを押してチェックを外します
(もう一度**エンター** ボタンを押すと、チェックが入ります)



【参考】

この画面の「タイトル」欄を選択し、画面に表示される仮想キーボードを使って、カメラタイトルを編集できます。

【参考】

メニュー操作時は、前面パネルの**方向**ボタンの中央ボタン(%)が、**エンター**ボタンとして使用できます。

2. 録画設定

- 1) **メニュー** ボタンを押してリアルタイム監視メニュー画面を表示し、「設定」を選択します。
- 2) 「録画」を選択して**エンター** ボタンを押し、以下の録画設定画面を表示し、必要な項目を設定します。



上書 (する)	録画ディスクが一杯になると古いデータから消去され新しいデータが保存されます。「上書」を解除した場合は、録画ディスクがいっぱいになると録画が中止されます。
イベント録画時間 (5秒)	イベント発生時の動作で連動録画が指定されている場合、このイベント録画時間で指定した時間だけ連動録画が実行されます。(5秒～30分の範囲)
ディインタレース (する)	最高解像度で録画する時に動きのある部分に生じることがある横の線などを軽減し、より分かりやすい映像にすることができます。
録音 (しない)	映像を録画する際、音声入力も同時に記録します。
自動削除 (しない)	設定した期間が過ぎたら録画データを削除することができます。削除可能な期間は1日(最小)～999日(最大)まで設定できます。自動削除機能を使用しない場合には「しない」に設定してください。例えば、「自動削除」を選択して期間を「30日」に設定すると現在時刻より30日前以降の時刻録画データのみ保存し、それより古い録画データは自動的に削除されます。録画データは毎日000に自動削除され、「自動削除」設定を変更するとすぐに適用されます。(設定された期間以前の録画データが削除されます。)
タイムラプス録画期間制限	(本書では説明を省略します。取扱説明書をご参照下さい。)

設定変更後に「保存」を選択して、変更した設定を保存してください。設定画面左下の (初期化) アイコンを選択すると、設定値が初期値に戻ります。

【参考】

この画面の「緊急録画」タブを選択すると、緊急録画モードの設定ができます。

初期設定は、「緊急録画(する)、緊急録画時間(制限なし)、ips(30.00ips)、画質(高画質)、解像度(高解像度)」となっています。必要に応じて、設定してください。

3. スケジュール設定

- 1) **メニュー** ボタンを押してリアルタイム監視メニュー画面を表示し、「設定」を選択します。
- 2) 録画メニューから「スケジュール」を選択し、以下のスケジュール選択画面を表示します。



- 3) 「スケジュールオン」のチェックが入っていれば、設定したスケジュール通りの録画を行います。

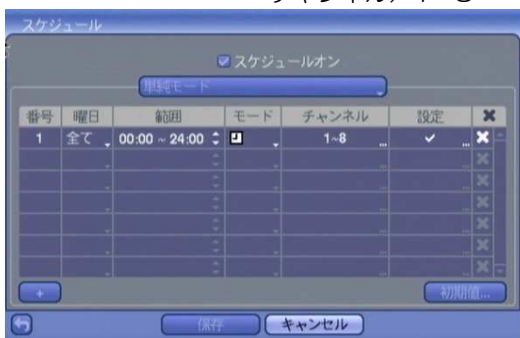
- 番号 スケジュールの番号です。
- 曜日 スケジュールを設定したい曜日を設定します。
- 範囲 スケジュールを設定したい時間を設定します。
- モード 「録画しない」「連続録画」「イベント」「時間&イベント」から選択します。
 - ・「録画しない」 : 緊急録画以外には録画を行いません。
 - ・「連続録画」 : 設定された日時内で常に録画を行います。
 - ・「イベント」 : 設定された日時内でイベントが発生した場合のみ録画を行います。
 - ・「時間&イベント」 : 設定された時間内で常に録画を行い、イベントが発生した場合にはイベント録画で設定した画質、ips (コマ数) で録画を行います。
- チャンネル スケジュールを適用するカメラチャンネルを選択します。チェックを入れたカメラチャンネルにスケジュールが適用されます。
- 設定 「連続録画」と「イベント録画」の ips (コマ数)、画質、解像度を設定します。
 - ・「ips」 : 1 秒当たりの録画コマ数を選択します。
30ips~1ips の範囲で設定します。
 - ・「画質」 : 最高画質/高画質/標準画質/低画質から選択します。
 - ・「解像度」 : 最高/高解像度/標準から選択します。
- + スケジュールを追加します。

【参考】

「ips」が高いほど、また「画質」、「解像度」がよいほど録画映像の保存に多くのハードディスク容量を必要とするため、録画可能時間が短くなります。

【運用例】

- ★例 1. カメラ 8 台接続し、全ての曜日で 5ips、高画質で 24 時間連続録画する場合の設定を以下に示します。
 スケジュール 1 — 曜日/全て 範囲/00:00~24:00 モード/連続録画
 チャンネル/1~8 ips/5 画質/高



スケジュール設定画面



スケジュール 1 の ips と画質の設定画面

4. アラーム入力設定

- 1) **メニュー** ボタンを押してリアルタイム監視メニュー画面を表示し、「設定」を選択します。
- 2) メニュー画面から「イベント」を選択し、「アラーム入力」を選択します。
 - 番号 本機背面のアラーム番号に対応します。
 - タイトル アラームにタイトルをつけることができます。
 - タイプ NC または NO を選択します。
取り付けたアラーム機器に合わせて設定して下さい。設定が異なると誤作動の原因となります。

- 緊急録画 選択したアラーム番号からアラーム入力があると緊急録画を開始します。
アラーム入力が解除されると緊急録画も停止します。
- 3) 「動作 1」を選択し、アラーム入力があった場合の動作を設定します。
- 番号 本機背面のアラーム番号に対応します。
 - 録画 当該番号のアラーム入力があった場合、連動して録画するカメラチャンネルを設定します。
複数選択することも可能です。
 - アラーム出力 アラーム入力があった場合、本機に接続されたアラーム出力機器を作動させるか、本体内部のピープ音を鳴らすことができます。
 - 通知 メール、アラーム画面などを設定できます。(本書では説明を省略します。取扱説明書を参照ください。)



アラーム入力設定画面

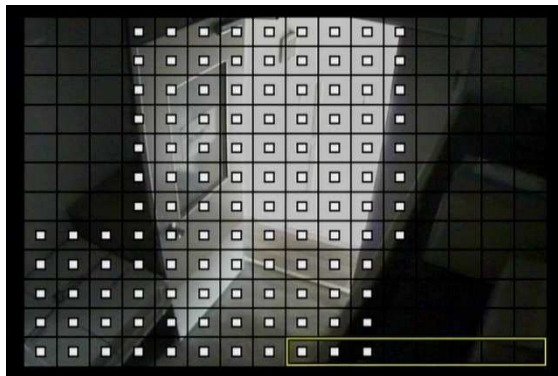


動作 1 設定画面

5. モーション検知設定

- 1) **メニュー**ボタンを押してリアルタイム監視メニュー画面を表示し、「設定」を選択します。
- 2) メニュー画面から「イベント」を選択し、「モーション感知」を選択します。
- 3) 「番号」にチェックを入れると、その番号のカメラチャンネルのモーション感知がオンになります。

- 番号 カメラチャンネルに対応します。
- 感度 昼間と夜間のそれぞれの感度を設定します。
1 (低感度) ~ 5 (高感度) から選択します。
- エリア 撮影画面のうち、モーション感知を行うエリアを選択します。
ブロックのある部分についてモーション感知を行います (ブロックがない部分については、画面内に動きがあってもモーション感知を行いません)。
方向ボタンと**エンター**ボタンでブロックのON/OFFを選択します。



□が表示されているエリアのみ、モーション感知します。

- ミニマムブロック 設定したブロックの個数以上のエリアで同時に変化が発生した場合のみ、モーション感知を行います。
昼間と夜間のそれぞれで設定できます。
- エリアビュー チェックを入れると、ライブ映像監視画面でモーション感知のあった部分が赤枠で表示されます。
- モーション感知無視間隔 最初のモーション感知以降、設定した時間内に発生するモーション感知に対してイベントログを残しません。ただし、録画は設定どおり行います。
- 昼間設定... 昼間時間範囲を 15 分単位で設定でき、指定した時間範囲以外は夜間に区別されます。

【参考】

モーション感知とは

カメラで撮影している画面内に動きや明るさの変化があった場合、それを感知して録画やアラーム出力などを開始する機能です。ただし、変化が非常にゆっくりである場合や変化のある範囲が非常に狭い場合、感知されないことがあります。

★ライブ映像監視

1) ライブ映像を監視する。

カメラが接続されているチャンネルの映像が表示されます。

「信号なし」と表示されている場合、カメラ設定（3 ページ）を参照して、使用していないカメラチャンネルを OFF にしてください。

映像の録画を行っている場合、各チャンネル画面の左上に●（赤丸）が点灯します。

2) 1つのカメラチャンネルの映像を全画面表示にする。

表示したいカメラの「カメラ番号」ボタンを押すと、そのカメラの映像を全画面表示します。



3) 画面表示を切り替える。

分割表示ボタンを押すごとに

P I P→4分割画面→6分割画面（5+1）→8分割画面（7+1）→9分割画面→16分割画面（SDRS-1630のみ）

の順で切り替わります。

4) 映像をフリーズ（一時停止）させる。

エンターボタンを押すと、ライブ映像をフリーズさせることができます。

もう一度エンターボタンを押すと、フリーズが解除されます。

（ライブ映像をフリーズさせても、録画は通常通り継続されます）

5) 緊急録画を行う。

緊急録画ボタンを押すと緊急録画が開始されます。

緊急録画中は、各チャンネル画面左上に●が表示されます。

【参考】

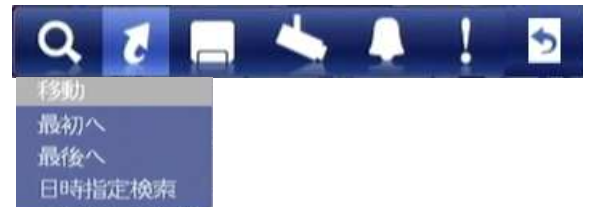
緊急録画とは？

スケジュール設定で録画しないよう設定している時間帯であっても、緊急録画ボタンを押すと録画を開始します。もう一度緊急録画ボタンを押すと、緊急録画が停止します。ただし、録画設定で緊急録画期間を設定している場合、緊急録画開始から設定した時間が経過すると自動的に緊急録画を停止します。

★録画映像の再生・検索

1. 録画映像を再生する

- 1) ライブ映像監視画面で「メニュー」→「検索」を選択します。
(または、前面パネルの再生ボタンを押して表示されるメニューから「全てのカメラ」を選択すると、再生モードに入ります。もう一度押すと、ライブ映像監視モードに戻ります。)
- 2) 再生モード中に「メニュー」ボタンを押すと、再生メニューが表示されます。
- 3) 「移動」→「最初へ」を選択すると、保存されている映像の最初が頭出しされます。
「移動」→「最後へ」を選択すると、保存されている映像の最後が頭出しされます。



2. 日時指定検索を行う

- 1) 再生メニューから「移動」→「日時指定検索」を選択すると、日時入力画面が表示されます。
- 2) 方向ボタンと「エンター」ボタンで日時を入力し、「決定」を選択します。
- 3) 上記2で選択した日時の映像が一時停止状態で頭出しされます。
「エンター」ボタンを押すと再生が始まります。
もう一度「エンター」ボタンを押すと停止します。



3. カレンダー検索を行う

- 1) 再生メニューから「検索」→「カレンダー検索」を選択すると、カレンダー検索画面が表示されます。
カレンダー内で白字で表示されている日が録画映像が保存されている日です。
- 2) 再生したい映像が録画されている日を選択すると、画面下部に録画映像が保存されている時間帯が白く表示されます。
- 3) 方向ボタンで再生したい時間帯に画面のカーソルを合わせ、「決定」を選択します。
1時間単位でカーソルが移動します。
- 4) 上記3で選択した映像が一時停止状態で頭出しされます。
「エンター」ボタンを押すと再生が始まります。もう一度「エンター」ボタンを押すと停止します。



4. イベントログ検索を行う

- 1) 再生メニューから「検索」→「イベントログ検索」を選択すると、イベントログ検索画面が表示されます。過去に発生したイベントログ一覧が表示されます。
- 2) 再生したいログを選択して「エンター」ボタンを押します。
- 3) 上記2で選択した映像が一時停止状態で頭出しされます。
「エンター」ボタンを押すと再生が始まります。もう一度「エンター」ボタンを押すと停止します。



5. 再生モードを終了してリアルタイム監視モードに戻る

- 1) 「メニュー」→「終了」を選択します

または、前面パネルの再生ボタンを押すと、再生モードを終了します。



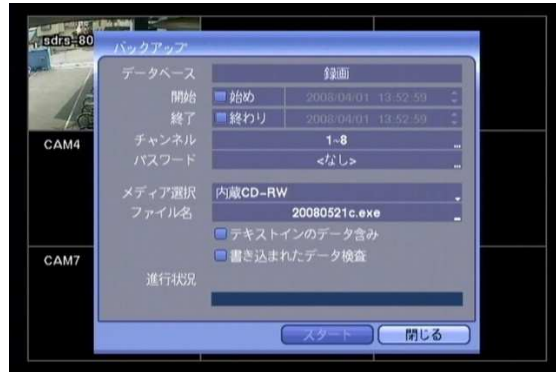
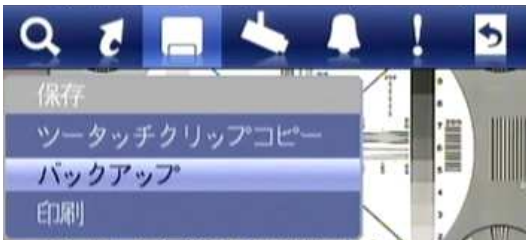
終了

★バックアップ

Windows パソコンで再生できるファイルを作成し、USB フラッシュメモリや DVD-R (-RW)、CD-R (-RW) など書き出すことができます。

1. バックアップを行う

- 1) 本機前面のUSB端子にUSBフラッシュメモリを挿しこむか、DVDドライブにCDまたはDVDを入れます。
(注) USBフラッシュメモリを使用する場合、パソコンでFAT32でフォーマットされたものをご使用ください。
- 2) 再生メニューからバックアップを選択すると、バックアップ画面が表示されます。



- データベース 設定する必要はありません。
 - 開始/終了 ※通常は、チェックなしで、必要な範囲を開始時刻、終了時刻に入力して設定してください。「始め」「終わり」のチェックを入れない場合、それぞれ任意の時刻を設定することができます。「始め」「終わり」のチェックを入れると、録画を開始した時刻から現在時刻までのすべてが設定されます。「終わり」にチェックが入っていると、録画されている映像の最後の時刻が設定されます。
 - チャンネル バックアップしたいカメラチャンネルを選択します。複数選択可能です。
 - パスワード Windows パソコンで再生する際に必要なパスワードを設定できます。〈なし〉の場合、パスワードなしで再生することが可能になります。
 - ファイル名 バックアップファイルに任意のファイル名をつけることができます。初期値は日付がファイル名になっております。
 - テキストインのデータ含み チェックを入れると、テキストイン機能を使用している場合、テキストインのデータをバックアップファイルに含めることができます。
 - 書き込まれたデータの検査 チェックを入れると、バックアップファイル作成後、データが正常に書き込まれているかをチェックします。(全てのパソコンでの再生を保証する機能ではありません)
- 3) 本機が自動的にバックアップファイルのファイルサイズを計算します。
 - 4) ファイルサイズの計算が終了し、空き容量が十分であれば、実行確認画面が表示されますので「継続」を選択します。
(注1) バックアップファイルのサイズが保存するメディアの容量より大きい場合、空き容量に収まるように終了時刻が自動的に調整されます。
(注2) バックアップファイルの最大容量は2GBです。2GB以上のバックアップファイルは、2GB単位に分割してバックアップされます。(例えば5GBの場合、2GBx2ファイルと1GBx1ファイルの計5ファイル)
 - 5) 確認画面が表示されますので、「スタート」を選択します。
バックアップが開始されます。
(注) CDやDVDにバックアップする場合、バックアップ中は「録画設定」で設定したコマ数より少ないコマ数で録画されることがあります。
 - 6) バックアップが終了したら、「バックアップ終了」と表示されます。
「確認」ボタンを押して、USBフラッシュメモリを抜いてください。
CDやDVDを使用した場合、自動的にDVDドライブのトレイが出てきます。

2. バックアップファイルの再生を行う

- 1) バックアップファイルの入った保存メディアをWindowsパソコンにセットします。
- 2) 保存されているバックアップファイルをダブルクリックすると再生が開始されます。

【参考】

バックアップファイルのWindowsパソコンでの再生について

特別な再生ソフトは必要ありません。

お使いのパソコンの環境や性能によっては、正常に再生できない場合があります。

再生できない場合、高いCPU性能のパソコンでお試してください。